



えがお いっぱい

令和6年4月26日
富士市立富士南小学校
学校だより 5月号

小中一貫教育目標 「やさしく 生きる」
重点目標 「あいさつがいっぱい えがおもいっぱい」

4月・5月の生活目標 「すすんで心をつなぐあいさつをしよう」

4月も下旬を迎え、若葉の緑もしだいに色濃くなってきました。早いもので、私が、富士南小学校の子供たちと出会って、1か月が過ぎようとしています。178名の新1年生も、元気に登校し、朝の支度や授業の準備、給食の配膳など少しずつ小学校生活に馴染んできているように感じます。御家庭や地域の皆様の心温かな支えを受け、「ききょうっ子」として順調なスタートを切ることができました。ありがとうございました。

◇良好な人間関係は、あいさつから！

朝、正門や横断歩道に立って、子供たちを迎えています。「また今日も一日元気ががんばろう！」という思いを込めて、一人一人に「おはようございます！」と目を見ながら声を掛けています。子供たちも「おはようございます！」や会釈で応えてくれます。子供たちから笑顔が見られると、私の思いまでも伝わった感じがすると同時に、子供たちとのつながりが、また一つ深まった気がして、朝からすがすがしい気持ちになります。同様に、見守りボランティアの方からも、「子供からあいさつがあったり、あいさつが返ってきたりするとうれしいですね。今年も、とてもよい感じですよ。」という言葉をいただいています。

今年度は、学校教育目標「やさしく 生きる」の具現に向け、重点目標を「あいさつがいっぱい えがおもいっぱい」といたしました。「学び合い 考え 表現する」(研修テーマ)のためには、子供同士の良好な関わり合いが重要になります。そのための第一歩は、日々交わす「あいさつ」だと捉えています。「おはよう。」(今日も元気だよ。一緒にがんばろうね。)、 「さようなら。」(今日も楽しかったね。また明日ね。)、 「ありがとう。」(喜んでるよ。とてもうれしいよ。)、 「ごめんね。」(もうしないよ。ゆるしてほしいよ。)、 「いいよ。」(気持ちは分かったよ。次はしないでね。)等、言葉に込められた思いを受け止めて、その思いに沿ったあいさつや言葉のやりとりを繰り返すことで、互いの気持ちを「つなげる」ことができます。その結果として、「その考えは分かるよ。」「言いたいことは分かるけど、〇〇じゃないかな…」 「次は、〇〇したらどうかな。」 「よし！やってみよう！」と「意見(思い)をつなぐ」学習が展開され、より楽しい学校生活を送ることができるようになります。御家庭でも、機会を捉えてあいさつを交わすことのよさをお子さんとの話題にしてみてください。



<4/15 交通教室>



<4/16 初めての小学校給食>

◇ボランティア(ふれあい協力員)として、ともに子供たちを！

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を設置して5年目に入りました。これまでも、見守りボランティアや学習ボランティア、図書ボランティア、購買ボランティア等の方々の力をお借りしてきました。

「地域とともにある学校」として、保護者の皆様と地域の方々とともに、子供たちの成長を見守り、見届けていけたらと考えています。「できるときに できることを」を合言葉に、随時募集しておりますので、是非とも、御協力をお願いいたします。(連絡先：富士南小学校63-7025 担当：田口)